

日本共産党  
宇都宮市  
議員団

あなたの声を市政に

ほっとらいん

12月議会報告  
第63号

発行  
日本共産党宇都宮市議員団  
宇都宮市旭1丁目1-5  
電話 632-2622  
FAX 632-7753

LRT

# 市民利益と矛盾した事業!!

一般質問  
要旨

## 市長選挙が示すもの—LRT反対62% (NHK 出口調査)



一般質問に立つ福田くみ子議員

市長選挙後初めての議会は、選挙結果についての見解を求める質問が相次ぎました。日本共産党からは、福田くみ子議員が一般質問に立ち、LRT事業を中心に市長の政治姿勢などを正面から質しました。要点をダイジェストで報告いたします。

LRT推進の議員は、こそつて市長を持ち上げ激励し、新人の金子とおる氏が六千二百票という僅差まで迫ったことについて、根拠のない誤った情報、デマ情報に市民が惑わされた結果とする発言が相次ぎ、市長もまた、そのような見解に終始しました。

### 示されたのは LRTNO!の民意

福田くみ子議員

今度の選挙結果について、市長は「市からの情報が十分に届いていなかった。間違っていた情報によるもの」との見方を示しておられるが、それは事の本質を隠し矮小化したごまかし。市民利益と矛盾する事業であることを認めるべき。

佐藤栄一市長

根拠のない不正確な情報により本質が隠された。積極的に市民説明を行う。

### 不正確情報は むしろ市長側

佐藤栄一市長

不確実なビラで市民が惑わされた。(着工が)遅れることになったが、その間を利用して、丁寧に説明していく。LRTは、死にものぐるいで推進する。

福田くみ子議員

市は、全体計画も総額も未だ示せていない。西側計画について、H15年に公表した110億円のまま。吉田副市長は、市民オンブズパースンの開いたシンポ(12月4日)で、90億円とも発言。市長は選挙中、「大谷まで延伸する」とも発言している。こうした無責任な発言や、関連事業費が未だ明らかになっていない点、東側計画が当初事業費の1.7倍にも膨らんだ事実から推測すれば(総事業費が1千億円超との見解は)常識の範囲。誤った情報という根拠もない。わずか1週間の選挙で、民意が覆ったとか、しかも誤った情報によるものとする見方は、本質を矮小化し、市民を愚弄するもの。

### 4つのキーワードについて の答弁は?

① 関連事業費

これから検討すめる

② 維持管理費

年間9千万円の宇都宮ライトレール株式会社からの施設使用料で全額賄う(?)

③ 減価償却費

公共事業では資本を回収する必要はない。更新が必要になれば、再度議論。(つまり民間事業とは違って、将来的な大規模改修や更新の費用も「減価償却費」として計上せず、将来的にはすべてを税金で賄うことになる)

④ 総事業費

西側計画について、現在精査中。来年度には明らかにしたい。

これらの答弁から、今後税金での負担がどこまで膨らむのか? まだまだ不透明なことが明らかになりました。

### 住民合意確認するまで 着工延期を

最後に福田議員は、改めて、市長の責任で住民投票を行い、住民合意の確認をするまで着工を延期すべきと強く求めました。

## 義務教育 保護者負担軽減を

「義務教育は無償とする」の憲法の規定により授業料はもちろん教科書等が無償となっているものの、実際の保護者負担はばかになりません。大田原市など県内自治体でも給食費を無料化する自治体も広がっています。子育て世代の経済状況が改善されない中、義務教育における保護者負担の在り方を見直すよう求めました。

### 入学前3月に支給! 中学入学準備金 — 就学援助制度の改善求める —

就学援助制度について、福田議員は、2014年6月議会でも入学準備金の入学式前支給など制度の拡充と改善を求めました。

今議会では中学入学準備金について、今年度から6年生の3月に支給されることとなり補正予算に計上されました。

今度の一般質問では、さらに、小学校1年生について検討状況を質したところ「支給方法などの課題があるが、他市の状況を踏まえて検討をすすめる」と答弁しています。

さらに、必要な人すべてに制度が行き渡るよう、基本的に民生委員の関与をなくすなど改善を求めました。

◆就学援助制度◆「経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に費用の一部を援助し子どもの学ぶ権利を保障する」制度です。



## 多様な性を認め合う社会づくりを

男女共同参画行動計画に  
きちんと位置づけを!!

性的マイノリティの人たちの人権擁護の動きが広がるなか、H29年度には、宇都宮市第3次男女共同参画行動計画の改定を迎えます。この計画の中に多様な性を認め合う社会づくりをきちんと位置付け推進するよう求めました。

### 多目的公衆トイレ表示

「どなたでも使えます」へ

また、LGBTの52.7%、トランスジェンダーの64.9%がトイレの使用に困る、ストレスを感じるとのこと。

多目的公衆トイレ表示は、一部はすでに車いすマークだけではなく「どなたでも使えます」となっているが、すべてを計画的に変えていくと答弁しました。



### 掲載できなかった項目

- \*本市の優先すべき課題について
- \*循環型社会形成の位置づけについて
- \*生ごみの減量化の積極的取り組みについて



討論する荒川つねお議員



# 市民合意確認は 市長提案の住民投票を!!

陳情反対討論(要旨)

**LRT導入計画の白紙撤回を求める陳情について**  
 この度の市長選挙の歴史の結果を受けて「LRT先にあるべき計画を白紙に戻して、将来の宇都宮市にふさわしい公共交通政策を原点から検討し直してほしい」との陳情趣旨に全面的に賛成する。

**市長は重く受けとめよ LRTノイは市民の審判**  
 市政の最大課題であるLRT建設計画で、出口調査による客観的結果で明らかにならない、市民の審判は「LRT建設反対」が多数となった。本市のLRT計画は、未だ市民合意に至っていないことは、何人をして認めざるを得ない選挙結果である。

**選挙結果の衝撃大きく 新人の金子氏が僅差まで迫ったことに対して、一般質問に立った市長支持派の議員は**「根拠のない、誤った情報で市民が混乱させられたこと、市長も根拠のない不正確な情報により、

本質が隠された」と答弁している。  
 しかし、市民はちゃんと見ている。示された民意を歪めることは大問題である。

選挙結果は、お互いに厳粛に受けとめ、市民と真正面から真摯に向き合おうではないか。

**市民は見抜いた! LRT先にあるべきの矛盾**  
 今回の選挙での市民の審判の本質は「説明を聞けば聞くほど疑問が大きくなり、また、計画が明らかになればなる程、市民利益と矛盾する事業であることを見抜いた」ことにある。

**税金必死に納める 市民の側に立ってこそ**  
 下野新聞での、LRTバラ色論、我田引水の推進に都合の良い情報垂れ流しの吉田副市長インタビュー記事にはあきれ

ばかりだ。市民は、国交省なりに公共事業に湯水の様に税金を使う側ではなく、一生懸命働いて血の出る様な税金を納める側に立った、等身大のLRT説明を求めている。

**市民は、LRT着工急ぐことなど求めていない**  
 いずれにしても、LRTの年度内着工は見送られた。

市長は、市民へのLRT本質問題について説明・丁寧な説明に徹し、民主政治の常道に照らして市民多数の合意形成を達成してから、着工へ進むべきである。



その市民合意の確認は市長自ら提案する住民投票の実施を求めたい。

**河内図書館への指定管理者制度導入継続を見直し直営に戻す予算措置を求める陳情について**  
 市議会日本共産党は、陳情者の願意はきわめて妥当、全面的に賛同する。市民にとって図書館は、人類の叡智の宝庫であり、安らぎと交流、情報発信の場である。図書館は、司書などが育つ場であり、常に充実、発展が求められている場である。また、全ての市民の学習を保障する機関として、無料利用の原則が貫徹されている。コスト削減が強く求められる行革の手段として導入された指定管理者制度が、最もなじまないのが図書館運営である。河内図書館の運営を直営に戻し、地域の知の拠点としての機能と身近に使いやすい図書館にするために市民、利用者の声を生かすべきである。

## 保健福祉の拠点 廃止認められない

**上河内保健センター及び河内保健センターを廃止する条例について**  
 これは両地域の保健サービス提供機能を河内地区自治センターに統合することが理由です。

荒川議員は、住民の保健・福祉の拠点は、地域住民にとって、今後ますます強化されなければならないもの、ネットワーク型コンパクトシティの位置付けの中で、両地域拠点に必要な施設を廃止するのはアベコベの話。

地域包括ケアシステムの確立をめざす中で、保健センターは廃止どころか旧市内も一ヶ所ではなく東西南北4ヶ所は必要と私は考えている。今迄常駐していた保健師さんたちが河内自治センターから往復一時間もかけて、上河内地域に出ばっくるといっても不合理だと迫りました。この議案は、共産党のみが反対しました。

## 市長に公開質問状

**LRT反対野党5党と2市民団体連携強める**  
 昨年十一月の市長選挙における「LRT中止を求める会」の主だった構成団体であった共産党・民進党・社民党・新社会党・緑の党と宇都宮市のLRT問題連絡会・宇都宮市のLRTに反対し公共交通を考える会の七団体の代表は十二月二十六日、佐藤栄一市長に対し七項目にまとめた公開質問状を提出しました。

**市民の疑問に わかりやすく答えて!**  
 その主な内容は、「渋滞対策について」「需要予測および採算性について」「LRT総事業費について」「市長選出口調査結果から市民合意の有無について」などとな

市からは、吉田副市長らが出席、公開質問状を受け取りました。この公開質問状提出には、各団体から20名が参加。市議会議員は荒川つねお・福田くみ子・今井恭男・宇賀神文雄・久保井永三の五議員が出席しました。

なお、一月十三日を回答期限としています。



### スポットライト



## 政務活動費 領収書のネット公開 当たり前の時代 なぜ不採択?

全国の地方議会で、政務活動費の不正支出が問題になる中で、その使い道を市民が気軽にチェックできるように、領収書のネット公開の動きが広がっています。

宇都宮市議会12月定例会には、ネット公開を求める陳情が出されました。

本市では、現在、領収書は情報公開すれば閲覧できますが、コピーを入手するには1枚10円かかり、すべてを入手するにはかなりのお金がかかります。

ホームページで公開されれば、市民は24時間いつでもチェックできます。

宇都宮市議会は、厳格な使途基準が設けられていますが、領収書のネット公開は、より積極的な情報公開の方法として当たり前の時代です。

この陳情には、共産2名を含む8名が採択を主張しましたが、不採択となりました。



**市民の皆さんへ**

日本共産党宇都宮市議員団では、市民の皆さんの声を市政に届けるため、最大限の努力をしております。市民の皆さんと市議員団をつなぐ「ほっとらいん」としてお届け致しますので、ご一読いただければ幸いです。皆さんのご意見、ご要望等どしどしお寄せ下さい。

**定例無料 市政・法律なんでも相談会**

- 2月11日(土) 市総合コミセン2階和室
- 3月11日(土) 市総合コミセン2階会議室
- 4月8日(土) 市総合コミセン2階会議室

※時間は午後2時～4時  
 ※弁護士が協力します。プライバシー厳守(2月は弁護士が同席できません)  
 ※相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡下さい。

市政、くらし、福祉、労働・雇用、教育、生活環境、介護、子育て、すまいの問題、多重債務、市民生活について、その他なんでも

★お急ぎの方はいつでもご連絡下さい。

**日本共産党宇都宮市議員団**  
 電話 632-2622 FAX 632-7753  
 電話 634-8722 (休日夜間など)